

丹 Dan 丹 Dan だ よ り



島根県社会福祉協議会（県社協）では、障がい者の社会参加や県民への障がい理解を進め、誰もがお互いに支え合う地域づくりにつなげていくために関係団体と連携しながら、さまざまな取り組んでいます。今回は「東京オリンピック・パラリンピック」開催決定を契機に、注目を集めている障がい者スポーツについて紹介します。

今回紹介するのは、バイスキーを通じた渡邊さんと岩根さんの信頼関係やパラリンピック出場を目指して地域の卓球クラブで汗を流している川本さん、住民への福祉教育の一環としてパラリンピックのホストタウンに手を挙げ、フィンランドのゴールボーリ代表選手たちとのさまざまな交流を計画している邑南町教育委員会の取り組みで施されています。この他にも障がい者スポーツを通じたさまざまなボランティア、競技観戦や応援など、障がい者スポーツを支援する活動に参加してみませんか？

これから開催される障がい者スポーツ大会

松江養護学校に通う川本健太さんは、兄の影響で小学4年生のときから卓球をはじめました。何事にもコツコツ取り組むタイプの健太さんは、嫁島ジュニアや県庁クラブなど市内の卓球クラブの協力を得て、練習に励んでいます。

「卓球が大好きで、厳しい練習でも楽しいです。スマッシュが決まったときは、とっても嬉しいです」と話す健太さん。彼をよく知る嫁島ジュニアの大和誠治さんは「健太くんは弱音を吐かない練習熱心な子です。ボルトに威力があり動きもいいですよ」と将来性にも目を細めます。

日頃の練習の成果が実り、昨年、スペシャル

オリンピックス（知的発達障がい者のスポーツ競技会）を提供する国際的なスポーツ組織）2018愛知ナショナルゲームの島根

県代表に選ばれ22才以下の部で金メダルを

獲得する事が出来たり、パラリンピックを目指す

選手が戦う全国大会にも一昨年から参戦し

て、出場の度に順位を上げています！

「パラリンピック出場を目指しています！」

と目を輝かせる健太さん。家族やコーチ、友

だちとの繋がりの中で、大きな目標を掲げ、今日も練習に励んでいます。

最初は「本当にスキーができるのかな？」

と不安もあった渡邊さんでしたが、滑走中

は岩根さんに後ろから声をかけてもらい、

曲がりたい方へ重心をかけ、上手く方向転

換しながらスキーを体感できることがまし

た。「風をきいてスピードを感じ滑ることができます」

岩根さんは脳性麻痺のため、普段は

電動車椅子で生活しています。しかし、ス

キューバーダイビングやスカイダイビングに

も挑戦する行動的な男性。年に一度開催さ

れる、島根県障がい者スポーツ大会

教室にも毎回参加しています。そこで出

会ったのが、スキーの指導員であり、障がい

者スポーツ指導員の資格も取得している岩

根徹さんでした。

最初は「本当にスキーができるのかな？」

と不安もあった渡邊さんでしたが、滑走中

は岩根さんに後ろから声をかけてもらい、

曲がりたい方へ重心をかけ、上手く方向転

換しながらスキーを体感できることがまし

た。「風をきいてスピードを感じ滑ることができます」

岩根さんは脳性麻痺のため、普段は

電動車椅子で生活しています。しかし、ス

キューバーダイビングやスカイダイビングに

も挑戦する行動的な男性。年に一度開催さ

れる、島根県障がい者スポーツ大会

教室にも毎回参加しています。そこで出

会ったのが、スキーの指導員であり、障がい

者スポーツ指導員の資格も取得している岩

根徹さんでした。

最初は「本当にスキーができるのかな？」

と不安もあった渡邊さんでしたが、滑走中

は岩根さんに後ろから声をかけてもらい、

曲がりたい方へ重心をかけ、上手く方向転

換しながらスキーを体感できることがまし

た。「風をきいてスピードを感じ滑ることができます」

岩根さんは脳性麻痺のため、普段は

電動車椅子で生活しています。しかし、ス

キューバーダイビングやスカイダイビングに

も挑戦する行動的な男性。年に一度開催さ

れる、島根県障がい者スポーツ大会

教室にも毎回参加しています。そこで出

会ったのが、スキーの指導員であり、障がい

者スポーツ指導員の資格も取得している岩

根徹さんでした。

最初は「本当にスキーができるのかな？」

と不安もあった渡邊さんでしたが、滑走中

は岩根さんに後ろから声をかけてもらい、

曲がりたい方へ重心をかけ、上手く方向転

換しながらスキーを体感できることがまし

た。「風をきいてスピードを感じ滑您可以

プレイヤーと支援者との信頼関係が、障がい

者スポーツの可能性を広げています。

県社協では、こんなことにも取り組んでいます

あいサポート運動

さまざまな障がいの特性や障がいのある方が困っていること、そしてそれに必要な配慮を理解し、日常生活でちょっとした配慮を実践していく「あいサポート」の活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域共生社会を皆さんと一緒につくっていく運動です。

障がい者アート作品展

芸術文化活動を通じた障がい者の自立と社会参加を推進し、県民の障がい者に対する理解と認識を深めることを目的として、毎年12月の障がい者週間にあわせて県立美術館で開催しています。今年度は12月6日(金)～8日(日)に開催します。

人そだて
人ともに
人くらす
わが島根づくり

島根県社会福祉協議会（県社協）は県全体をひとつの「まち」ととらえ、ここでくらす人ひとりを大切にし、福祉の人材育成や子育て支援、地域住民や団体同士のネットワークづくりをして人々が支え合いながら安心して暮らせる地域づくりを推進するため、さまざまな活動を行っています。その活動のいくつかをここで紹介しましょう。

しまね保育実習等旅費支援事業のご案内

島根県外の保育士養成施設で学ぶ学生のみなさま

2020年 3月2日(月)まで

24,100円

募集締切

助成額

最大

島根県外の保育士養成施設に就学する学生の方が、県内の保育所等で保育実習や就業体験・ボランティアを行う際の旅費を助成します。

実習等を通じて、県内の保育所や子供達の様子を知り、就職のきっかけとしていただくことを目的としています。

(島根県補助事業)※この事業は、「ふるさと島根寄附金」を活用して実施しています。

お問い合わせ
申請書提出先
社会福祉法人 島根県社会福祉協議会(島根県福祉人材センター)
〒690-0011 松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根2F
TEL 0852-32-5957 FAX 0852-32-5956

申請書はホームページにも掲載しています。
島根県内の保育所一覧もこちらでご覧いただけます。

しまね保育実習等旅費支援 [検索] http://www.shimane-fjc.com/

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会

〒690-0011 松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根5階

TEL 0852-32-5970 / FAX 0852-32-5973 E-mail shakyo@fukushi-shimane.or.jp

ホームページ https://www.fukushi-shimane.or.jp/ [島根県社協 検索]

facebook https://www.facebook.com/shimaneshakyo

**支え合つ
ワインタースポーツ
バイスキー**

渡邊隆介さん

**パラリンピックを
目指して!**

川本健太さん

**地域活性化
合宿誘致で
ゴールボール**

邑南町教育委員会

ふくしするひと、めざすひと

伏谷 夏莉さん

読者プレゼント

ポン菓子

5名

手造り三倍麹味噌

5名

ヤーコンの粕漬

5名

応募方法はがきに①希望商品名②郵便番号・住所・年齢・職業・電話番号③「暖暖だより」の感想を記入。
応募先/島根県社会福祉協議会(右記住所)
「暖暖だより」プレゼントまで
締め切り/8月9日(金)必着
当選発表/当選者の発表は、発送をもって
かえさせていただきます。
※お預かりした個人情報はプレゼント当選時の
商品発送業務にのみ使用させていただきます。

商品のご購入について
各グループの連絡先まで
お問い合わせください

商品のご購入について
各グループの連絡先まで
お問い合わせください

商品のご購入について
各グループの連絡先まで
お問い合わせください

商品のご購入について
各グループの連絡先まで
お問い合わせください